



がん撲滅チャリティー試合入場券を寄贈しました

令和7年6月30日

令和7年6月30日（月）、がんと闘う患者さんやそのご家族に楽しんでいただくため、新日本プロレスがん撲滅チャリティー試合入場券100枚を神奈川県に寄贈しました。

神奈川県庁で行われた寄贈式で神奈川県遊技場協同組合伊坂理事長（神奈川県福祉事業協会会長）は、「迫力のある試合を見ることが元氣のもとになると思う。これからも続けていきたい。」と挨拶するとともに、神奈川県黒岩祐治知事に入場券100枚を寄贈しました。

黒岩知事からは「プロレスを見ることで勇気が出て、日頃の闘病の苦しさを一瞬でも忘れることができる。」と感謝の言葉が述べられました。



左から 伊坂理事長、黒岩知事

寄贈したのは、8月8日横浜武道館（横浜市中区）において開催される「がん撲滅チャリティー横浜大会」の入場券で、県内の病院などを通じてがん患者さん等が招待されます。



前列左から 伊坂理事長、黒岩知事

後列左から 桐生県議会議員、県遊技場協同組合佐藤専務理事、株式会社「創」
小島康江会長、同小島恵美子代表取締役、神奈川県流通商福祉防犯協
力会平田会長、独立行政法人県立病院機構阿南理事長

神奈川県が推進する「がんを知り、がんと向き合い、がんの克服を目指す神奈川づくり」に賛同し、平成17年度（2005年）から入場券の寄贈を始めたもので、今回で19回目になります。

試合を観戦した方々の生きる力の支えになれば幸いです。

私たち遊技業界は、これからも社会貢献活動に取り組んでまいります。



神奈川福祉事業協会は昭和60年2月、神奈川県遊技場協同組合をはじめ県内遊技業界により社会福祉に貢献する組織として設立されました。